



WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

令和3年12月24日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 坪井 七夫
経営サポートセンター
リサーチグループリーダー 松本 庄平
担当 内記・佐藤 (電話) 03-3438-9932
(FAX) 03-3438-0371

社会福祉法人経営動向調査 (2021年12月) の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、四半期毎(3月、6月、9月、12月)に社会福祉法人経営動向調査を実施しています。今回は2021年12月に実施した本調査の結果についてご報告します。
詳細はホームページ(<https://www.wam.go.jp/hp/sh-survey/>)に掲載しております。

1. 調査の概要

- 対象：特別養護老人ホーム(以下「特養」という。)を運営する社会福祉法人 525 法人
- 調査事項：社会福祉法人および特養の業況、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と3ヶ月後の先行き予測、社会福祉連携推進法人への関心
- 回答数：415
- 有効回答数：415
- 有効回答率：79.0%
- 実施期間：2021年11月26日(金)～2021年12月16日(木)
- 実施方法：Web上で実施
- 集計方法：DI(景気変動を判断するための指標。各項目の第1選択肢の回答割合から第3選択肢の回答割合を差し引いて算出)に加工・集計して公表

2. 調査の結果

【社会福祉法人の動向】

- 業況判断のDIは、前回調査から1%ポイント低下し、2となった。
- サービス活動収益のDIは、前回調査から2%ポイント低下し、 $\Delta 7$ となった。
- サービス活動収支(黒字・赤字)のDIは、前回調査から9%ポイント上昇し、20となった。
- 資金繰りのDIは、前回調査から1%ポイント上昇し、 $\Delta 6$ となった。
- 従業員数のDIは、前回調査から3%ポイント低下し、 $\Delta 61$ となった。

【特養の動向】

- サービス活動収益のDIは、前回調査から2%ポイント低下し、 $\Delta 7$ となった。
- サービス活動収支(黒字・赤字)のDIは、前回調査から4%ポイント上昇し、15となった。
- 施設全体の従業員数のDIは、前回調査から5%ポイント低下し、 $\Delta 57$ となった。

【社会福祉連携推進法人への関心】

- 社会福祉連携推進法人の6つの業務について、関心があるという回答は災害時支援業務、人材確保等業務、地域福祉支援業務の順で多かった。
- 社会福祉連携推進法人への取組み状況としては、回答があった法人の半数近くが関心をもっているものの、現時点で設立を検討していると回答したのは1.2%(5法人)であった。

以上